

1. 第3次総合計画における施策の体系

目指す都市像 (政策)	番号	7	名称	快適な生活を育むまち			
施策	番号	4	名称	上下水道の整備			
主担当部	水道局		主担当課	水道局総務課		部長名	森田 泰造
関係部	下水道局・生活環境部		関係課	施設課・八木浄水場・下水道管理課・下水道整備課・環境衛生課			

2. 施策の基本方針(第3次総合計画の基本方針をもとに記入する)

この施策の目的	安全で安心できる良質な水の効率的かつ安定した供給を確保するとともに、下水道の普及と計画的かつ効率的な維持管理に努めることを目的とする。
---------	---

3. 施策の現状分析(第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する)

この施策の概況	この施策に対する市民ニーズなど、 具体的な事項について	社会環境や国・県の動向など、 施策を取り巻く環境について
	快適な生活基盤の整備や維持管理を求められている。	・少子高齢化による人口減少、節水意識の高揚、節水機器の普及などエコ社会の進行に伴う水需要の減少が、水道財政に与える影響が懸念される。 ・下水道整備が進み、普及率が向上するに従って、整備区域に隣接する未整備区域等からの整備に対するニーズが高まっている。
これまでの成果	市民が常に安全で安心できる良質な水を安定的に供給している。また公共下水道については、公共用水域の水質向上と快適な生活環境を提供している。	

4. 指標及びコストの推移

	名称及び単位等	25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標年度)	備考欄	
		実績	目標	実績	目標	目標	目標		
指標の推移	施策指標① (成果指標)	下水道処理人口普及率	72%	73%	74%	76%	78%	79%	
	施策指標② (成果指標)	水道普及率	99.92%	99.93%	99.93%	99.94%	99.96%	99.99%	
	施策指標③ (成果指標)								
	施策指標④ (成果指標)								
	施策指標⑤ (成果指標)								
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算			
	歳出 (直接事業費)(a)		3,632,816	4,040,533	3,594,060	4,062,427			
	歳入 (b)	受益者負担額	0	0	0	0			
		受益者負担額以外の歳入(補助金等)	382,999	584,616	379,550	532,021			
	(a) - (b) = 一般財源		3,249,817	3,455,917	3,214,510	3,530,406			
	正職員	従事者数 (単位:人)	55.10	54.25	53.25	47.50			
		人件費(c)	340,077	352,625	346,125	308,750			
トータルコスト (a) + (c)		3,972,893	4,393,158	3,940,185	4,371,177				

5. 施策の評価

有効性の評価	この施策の成果の達成度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の可能性はどうか	2	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な整備を行うため、人口密集地を優先的に整備するなど計画的な事業執行に取り組んだ結果、当初目標として定めていた普及率を達成した。 ・市街化区域等の整備を推進することにより、ある程度の施策成果の向上が可能と考えられる。 				
	市政全般に対する貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に定めている「上下水道の整備」に直接的に貢献している施策である。 				

6. 施策の課題

この施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時でも安定的に水道を供給するため、施設の更新及び耐震化を計画的に進める必要がある。 ・下水道整備の普及率を向上させるため、工事コスト縮減等に継続して取り組むなど、事業費を有効活用し、事業推進を行っていく必要がある。
---------	---

7. 次年度以降の施策の方向性

総合評価 1次評価	次年度以降の方向性	1	1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画に基づき、施設の整備・更新事業を計画的に進める。 ・また、アウトソーシング等による経営のスリム化や給水コストの削減による経営の効率化・健全化を図る。 ・公共下水道事業としての経営基盤の強化、事業の健全性、計画性、透明性の向上を図るため、地方公営企業法の適用を目指す。 			
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明				

8. 構成事業の方向性（それぞれの事務事業における今後の最適手段を検証する）

1次評価	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・生活基盤整備のため、下水道普及率の向上を目指す。 ・貯水槽水道維持管理業務が平成27年に完了予定であり、自己水の廃止、県営水道への全量転換を行うため、平成28年3月末をもって浄水場運転維持管理事業を廃止するが、これらの事業以外については、今後の情勢を考えても廃止する事業はない。
2次評価	説明	

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

※下記評価の解説

- ・貢献度—事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。
(a: 不可欠かつ施策の中核をなす事業、b: 不可欠な事業、c: 不可欠ではないが実施が望ましい事業、d: あまり有効ではない事業)
- ・方向性—事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。
(拡大する、見直しながらかつ続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ)—施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。
(優先度が高い順に A、B、C、D)

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評価		
NO.	課名、事務事業名及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及びH26決算額	貢献度	方向性	優先度(ソフト任意)
1	環境衛生課	専用水道設置者より施設工事確認申請があり、確認後通知をおこない、完了後工事検査及び給水開始前には市と共に水質検査もおこなう。また、毎月の水質検査結果報告書の提出等法定義務事項が守られているか把握したうえで、改善が見られない場合には指導をおこなう。	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	
	専用水道管理事業 (ソフト(義務))		1 (千円)			
2	下水道管理課	下水道施設の破損による事故や堆積物による流下能力の低下を未然に防ぐため、計画的に調査を行い、必要な箇所については、修繕・改築及び清掃を行う。	1 拡大する	b	拡大する	
	下水道施設維持管理事業 (内部管理・維持管理)		87,355 (千円)			
3	下水道管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道使用者から使用料を徴収する。 ・流域下水道維持管理負担金の算出及び支払い。 ・汚水排出量の認定 ・消費税申告 ・地方公営企業法を適用する法適化への移行準備 	2 現状のまま継続	a	見直しながらかつ続ける	B
	下水道事務管理事業 (ソフト(任意))		810,888 (千円)			
4	下水道管理課	下水道への接続を促進するため普及相談員による啓発を充実する。また、貸付金制度について周知を図る。	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	C
	水洗化普及促進事業 (ソフト(任意))		3,141 (千円)			
5	下水道整備課	現在、事業計画の認可を受けている区域(約1,802ha)の内、人口密集地や市街化の著しい区域を優先的に、計画的かつ効率的に整備を進め、下水道処理人口普及率の向上を目指します。また、開発事業等に伴う施設建設についても、整備計画との整合や適切な維持管理に留意しながら協議・指導を行います。	1 継続する	a	継続する	
	汚水施設建設事業 (ハード)		735,703 (千円)			
6	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ①水道メーター検針及び点検業務 ②開閉栓受付及び局電話受付(交換)業務 ③開閉栓業務(一部現地精算含む) ④水道料金及び下水道使用料調定業務 ⑤水道料金等収納及び滞納整理業務(給水停止を含む) ⑥水道メーター取替及び維持管理業務 ⑦給水装置工事及び指定工事業者新規受付業務 ⑧その他付帯業務 以上の業務を民間業者に委託	2 現状のまま継続	a	見直しながらかつ続ける	A
	お客さまセンター委託業務 (ソフト(任意))		102,369 (千円)			
7	総務課	安全かつ円滑に水道事業を遂行するための拠点施設として常に機能できるよう、庁舎内の電気機械設備の点検整備等を定期的に行う。また、非常停電時に備えての自家発電設備は毎月1回、整備点検と試運転を行っている。	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	
	水道局舎維持管理業務 (内部管理・維持管理)		5,916 (千円)			
8	総務課	渇水、事故、災害等を想定した各種訓練の実施及び災害用物資の購入	2 現状のまま継続	b	見直しながらかつ続ける	
	水道局非常時対策事業 (内部管理・維持管理)		774 (千円)			

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)					施策評価		
NO.	課名、事務事業名及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及びH26決算額		貢献度	方向性	優先度(ソフト任意)
9	総務課	①公企業会計業務…予算決算の編成、資金管理運営 ②総務一般業務…事業基本計画、契約事務、文書管理、公用車管理、業務用無線管理 ③人事業務…職員研修、健康診断、訓練 ④水道営業業務…水道料金に関する業務	2	現状のまま継続	a	見直しなが ら続ける	
	水道局総務事業 (内部管理・維持管理)		24,354 (千円)				
10	施設課	計量法に基づいて、定期的に取り替を行い、取替に必要な金額を適正に算出して、委託業者と契約して取替を行う。また、閉栓中で5年以上使用されていないメーターについても適正に算出し、委託業者と契約し取外しを行う。取替困難箇所については、使用者と協議を行い改善する。	2	現状のまま継続	a	見直しなが ら続ける	
	水道メーター取替及び維持管理業務 (内部管理・維持管理)		11,744 (千円)				
11	施設課	貯水槽水道の適正な維持管理を設置者に行ってもらうため、維持管理状況を現地で確認し、設置者に適正な管理を指導する。また、利用者に対し貯水槽水道の管理等に関する情報提供を的確に行う。	5	完了する	c	完了する	
	貯水槽水道維持管理業務 (内部管理・維持管理)		1,650 (千円)				
12	施設課	他事業で支障になる上水道施設の移設・復旧及びそれに伴う設計・施行管理・検査事業	1	継続する	b	継続する	
	配水管移設事業 (ハード)		84,597 (千円)				
13	施設課	上水道管を拡張するための布設及びそれに伴う設計・施工管理・検査事業	1	継続する	b	見直す	
	配水管管理設事業 (ハード)		20,839 (千円)				
14	施設課	ポンプ場に設置されている加圧ポンプ、制御盤、圧カタンク、受水槽などの機器を仕様書に基づき、年四回の点検及びメンテナンスを実施する。1箇所ある受水槽については、水道水の水质が関係法令の基準を満たす様、年一回の清掃・消毒を実施し、安全な水道水の供給に努める。	2	現状のまま継続	c	見直しなが ら続ける	
	ポンプ場維持管理事業 (内部管理・維持管理)		5,467 (千円)				
15	施設課	開発事業事前協議会に参加し、榎原市開発指導要綱に基づき開発事業者に協議・指導を行う。また、事前協議において配管、材料等の詳細を条例、規程、要綱により協議・指導を行っています。その後、工事施工前に工程、施行管理の確認を行っている。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける	
	開発協議事業 (内部管理・維持管理)		0 (千円)				
16	施設課	市内の上水道施設を適宜、巡視・調査を実施し、漏水や道路構造物の不具合について早期に修理、改善を行う。また、水道管に設置されている消火栓において、定期的に水圧測定を実施し、管路の状況を把握し、安定的に水道水を供給する。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける	
	各種調査業務 (内部管理・維持管理)		0 (千円)				
17	施設課	積算単価の管理を行う事により、適正な工事費の積算を図ると共に、既存の水道施設を管路管理システムにより管理することで、水道工事の計画及び他事業者の事業協議の審査を行い円滑な事業の進捗を図る。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける	
	管理計画業務 (内部管理・維持管理)		5,394 (千円)				
18	施設課	職員の巡視や市民からの通報による水道管からの漏水を早期に調査、修理を実施し、また、お客様の給水装置についても積極的に維持管理することにより、有収率の向上に努める。上水道施設の安全確保については、事業者に対し地下埋設物事前協議書の提出を求め、適宜現場立会を実施する。	2	現状のまま継続	a	見直しなが ら続ける	
	管路維持管理事業 (内部管理・維持管理)		36,168 (千円)				

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評価		
NO.	課名、事務事業名及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及びH26決算額	貢献度	方向性	優先度(ソフト任意)
19	施設課	給水装置工事の申請に至るまでの協議等その後、申請後の書類審査、工事の監督給水装置完了後の検査、又適正な給水装置を設置するために、新規指定工事業者受付、審査並びに指導を行う。	2	現状のまま継続	a	見直しながらかつける
			0 (千円)			
20	施設課	老朽化した上水道管を管路更新・耐震化することにより、給水の安定供給を図る。	1	継続する	a	継続する
			128,376 (千円)			
21	施設課八木浄水場	・昼夜を問わず原水の取水に努め、適切な浄水処理を実施することにより、低廉な水道水を安定して供給する。 ・ポンプ設備や電気計装設備といった設備・機器の定期的なメンテナンスを実施することにより、浄水場施設の良好な維持管理を図る。	4	廃止又は休止する	a	廃止又は休止する
	浄水場運転維持管理事業 (内部管理・維持管理)		64,920 (千円)			
22	施設課八木浄水場	・毎日9箇所、濁度・色度・残塩の検査を行う。 ・自己水質検査を月1回、2箇所の配水場、小中学校22校及び11箇所の自治会地区内の公共施設等の給水栓より採水し実施する。また月2回、浄水場給水栓と各原水より採水し実施する。 ・自己検査できない項目については、奈良広域水質検査センター組合に検査を委託する(管末3箇所、年4回)。	3	縮小する	a	縮小する
	水質検査事業 (内部管理・維持管理)		4,485 (千円)			
23	施設課八木浄水場	・年間の送水計画を策定し、県水道局と受水調整を図りつつ、浄水場からの遠隔操作により均等受水に努め、安定的に配水する。 ・ポンプ設備や電気計装設備等の定期的なメンテナンスを実施することにより、配水場施設の良好な維持管理を図る。	1	拡大する	a	拡大する
	配水場運転維持管理事業 (内部管理・維持管理)		1,459,806 (千円)			
24	施設課八木浄水場	・水道局のホームページ(HP)を毎月更新することにより、水質検査結果等の水道事業に関する情報を広く提供する。 ・施設見学、出前講座を行い水道事業に対する理解を深めてもらう。その際、資料も配布し記憶に残りやすいものにする。 ・水道局発行の広報紙(年2回)に浄水場の業務に関する記事を掲載する。	2	現状のまま継続	a	見直しながらかつける
	広報事業 (ソフト(任意))		113 (千円)	D		

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 6月 4日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト(義務)) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	専用水道管理事業									
	担当部名	生活環境部	担当課名	環境衛生課	課長名	小山 隆彦					
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	予算事業名	環境衛生推進費									
	事業の開始年度	平成	25	年度	事業の終了予定年度	平成	年度				
	対象	専用水道設置者			事業の 内容説明	専用水道設置者より施設工事確認申請があり、確認後通知をおこない、完了後工事検査及び給水開始前には市と共に水質検査もおこなう。また、毎月の水質検査結果報告書の提出等法定義務事項が守られているか把握したうえで、改善が見られない場合には指導をおこなう。					
	事業の 目的	「水道法」に基づき専用水道と認められる施設を設置する申請者が適正な管理運営を図ることを目的とする。									
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明									
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (総計目標)		
	成果指標				実績	計画	実績	見込み	見込み		
	活動指標①	施設件数(件)	10	10	12	12	12	12	12		
	活動指標②										
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			2	3	1	3			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)								
		(a) - (b) = 一般財源			2	3	1	3			
		正職員	従事者数(単位:人)			0.15	0.15	0.15			0.25
人件費(c)			926	975	975	1,625					
トータルコスト(a)+(c)			928	978	976	1,628					
単位当 りコスト	計算式等 ()/()										
備考 (これまでの 実績等)											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	各施設において検査を行った結果水質の異常を及び不適合はなく。適正な管理を行っている							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	設置者は常に安全で衛生的な飲み水管理を行っている。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	当業務は専門的知識が必要である為、水道局職員にも助言・協力を求めることによりコストや時間の軽減を考えると考えられる。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		専用水道は多くの人々が利用する施設です。担当課としては設置者に水の安全を確保するため、水道法等で定められている管理基準のほか、各設備の機能点検状況などの管理を行い指導してのように努めることにより衛生的な管理が望める。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	今後も現状のまま継続して行くが検査・測定器具等がそろっていないため、今後は購入する必要がある。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 27日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	下水道施設維持管理事業									
	担当部名	下水道局	担当課名	下水道管理課	課長名	黒田 元晴					
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	予算事業名	下水道維持管理費・下水道長寿命化対策事業費									
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
	対象	市が管理すべき公共下水道(汚水)施設			事業の 内容説明	下水道施設の破損による事故や堆積物による流下能力の低下を未然に防ぐため、計画的に調査を行い、必要な箇所については、修繕・改築及び清掃を行う。					
	事業の 目的	下水道施設の適切な維持管理により安心して快適に暮らせることを目的とする。									
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明									
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
説明											
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標	管路調査率			100	100	100	100	100	100	
	活動指標①	修繕率			100	100	100	100	100	100	
	活動指標②										
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			54,378	99,892	87,355	111,770			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)			15,500	35,000	28,500	50,000		
		(a) - (b) = 一般財源			38,878	64,892	58,855	61,770			
正職員		従事者数(単位:人)			1.70	1.80	1.70	1.20			
		人件費(c)			10,492	11,700	11,050	7,800			
トータルコスト(a)+(c)			64,870	111,592	98,405	119,570					
単位当 りコスト	計算式等 ()/()										
備考 (これまでの 実績等)											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	定期的な下水道施設の点検を行い、必要に応じた改築を行うことで事故等を未然に防ぐ。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	健全な施設管理を図ることで快適な市民生活を育める。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	適正な維持管理を行う上で、コスト削減の余地はあまりないが、可能な縮減に取り組む。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		下水道施設を計画的に調査することで効率的な維持管理ができ、下水道のサービスを安定的に提供できる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	下水道施設の維持管理には、更新も含め計画的に調査を行い、且つ、効率的に行う必要がある。また、長寿命化計画に基づき事業を進めていくことから、事業費が増えることが予想される。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 27日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト(任意)) 事業

PLAN
計画

事務事業名	下水道事務管理事業						
担当部名	下水道局	担当課名	下水道管理課	課長名	黒田 元晴		
総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち				
	施策	4	上下水道の整備				
予算事業名	下水道事務管理費						
事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度
対象	供用開始区域内の公共下水道(汚水)使用者・県・国			事業の内容説明	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道使用者から使用料を徴収する。 ・流域下水道維持管理負担金の算出及び支払い。 ・汚水排出量の認定 ・消費税申告 ・地方公営企業法を適用する法適化への移行準備 		
事業の目的	健全な経営を行うため、下水道使用料等で財源を確保する。						
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業				
		2	2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)				
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明	健全な下水道事業を進めるため使用料歳入を確保する。				
		1	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い	
		説明	管理運営に支障をきたす。				

DO
実施

指標の推移	名称及び単位等	25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)
		実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
成果指標	下水道使用料徴収率	97	97	97	98	98	98
活動指標①	徴収委託件数	166,677	172,000	171,626	176,000	177,000	187,000
活動指標②							
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	/
	歳出(直接事業費)(a)		779,386	828,003	810,888	863,736	
	歳入(b)	受益者負担額					
		受益者負担額以外の歳入(補助金等)					
	(a) - (b) = 一般財源		779,386	828,003	810,888	863,736	
	正職員	従事者数(単位:人)	2.65	3.10	3.10	2.40	
		人件費(c)	16,356	20,150	20,150	15,600	
	トータルコスト(a)+(c)		795,742	848,153	831,038	879,336	
単位当たりコスト	計算式等 ()/()						
備考 (これまでの実績等)							

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	下水道整備を継続的に実施することで新規の利用者が増加しているが、率を下げることなく下水道使用料の徴収を行っている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	下水道整備を継続的に実施するには、歳入確保が必要である。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	下水道使用料の徴収業務を水道局に委託しており、コストの削減は難しい。委託単価については水道局と協議して決定している。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		下水道使用料は上水道料金と一括して徴収している。分割して管理、徴収を行うことは非効率的であるので、現在の体制を堅持し、歳入確保に努めていく。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		B	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	下水道事業の健全化を図るため、下水道使用料の徴収率を向上させるとともに、コストの削減を念頭に入れ、歳入確保に努めていく。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 27日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト(任意)) 事業

PLAN
計画

事務事業名	水洗化普及促進事業						
担当部名	下水道局	担当課名	下水道管理課	課長名	黒田 元晴		
総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち				
	施策	4	上下水道の整備				
予算事業名	下水道普及促進費、下水道事務管理費						
事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度
対象	供用開始区域内の下水道未利用者			事業の内容説明	下水道への接続を促進するため普及相談員による啓発を充実する。また、貸付金制度について周知を図る。		
事業の目的	より多くの市民に公共下水道を利用してもらうよう、啓発等により水洗化率の向上に努めることを目的とする。						
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業 2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)				
		説明	下水道への接続を促進することで収益が増加する。				
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	2	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い	
		説明	水洗化率が低下し、健全な下水道事業経営が確保できない。				

DO
実施

指標の推移	名称及び単位等	25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)
		実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
成果指標	水洗化率	87	88	87	88	88	88
活動指標①	水洗化戸数	37,790	38,000	38,763	39,000	40,000	40,000
活動指標②	普及訪問戸数	1,084	1,000	410	1,000	1,000	1,000
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
	歳出(直接事業費)(a)		6,999	5,354	3,141	5,234	
	歳入(b)	受益者負担額					
		受益者負担額以外の歳入(補助金等)					
	(a) - (b) = 一般財源		6,999	5,354	3,141	5,234	
	正職員	従事者数(単位:人)	3.15	3.10	2.20	1.70	
		人件費(c)	19,442	20,150	14,300	11,050	
	トータルコスト(a)+(c)		26,441	25,504	17,441	16,284	
単位当たりコスト	計算式等 ()/()						
備考 (これまでの実績等)							

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	新たに供用開始区域が拡大し、処理区域内の人口が増え、水洗化人口は増加している。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	公共下水道が整備されても各家庭が接続しなければ水洗化率の向上につながらない。							
評価	効率性評価		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください			説明 啓発用のリーフレットなどの購入やパンフレットの作成等最小のコストで行っている。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		下水道が供用開始された区域においては、下水道への接続を促進するため普及相談員による啓発やホームページ等による情報提供を充実します。また、水洗化を促進するために貸付金制度の周知を図っている。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		C	
4 廃止又は休止する				5 完了する						
			説明	予算は現状のまま、水洗化促進のための啓発内容の検討を行う。						

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 21日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業

PLAN 計画	事務事業名	汚水施設建設事業										
	担当部名	下水道局	担当課名	下水道整備課	課長名	藤田 晃男						
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち								
		施策	4	上下水道の整備								
	予算事業名	下水道施設整備事業費・流域下水道事業負担金										
	事業の開始年度	昭和	42	年度	事業の終了予定年度	平成	37	年度				
	対象	現在、事業計画の認可を受けている区域(約1,802ha)の内、人口密集地や市街化の著しい区域を優先的に、計画的かつ効率的に整備を進め、下水道処理人口普及率の向上を目指します。また、開発事業等に伴う施設建設についても、整備計画との整合や適切な維持管理に留意しながら協議・指導を行います。										
	事業の目的							河川の水質向上や、快適な生活環境を実現するために、汚水管渠の建設を推進します。		事業の内容説明(全体計画)		
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業 2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)									
			説明									
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い				
		説明										
DO 実施	指標の推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度(総計目標)		
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み		
	成果指標											
	活動指標①	下水道処理人口普及率(%)			72	73	74	76	78	79		
	活動指標②											
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算				
		歳出(直接事業費)(a)			942,341	991,978	735,703	969,206				
		歳入(b)	受益者負担額									
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)			321,373	440,331	287,822	436,908			
		(a) - (b) = 一般財源			620,968	551,647	447,881	532,298				
正職員		従事者数(単位:人)			15.00	14.00	14.00	13.00				
		人件費(c)			92,580	91,000	91,000	84,500				
トータルコスト(a)+(c)			1,034,921	1,082,978	826,703	1,053,706						
単位当たりコスト	計算式等 ()/()											
備考(これまでの実績等)	活動指標 H24年度以前 計画70%、実績71%、達成率100%											

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	1	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない			
			説明	限られた予算の有効活用により、普及率の着実なる向上を維持しています。					
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明						
				1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない		
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。								
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する		課内優先度	
			説明	予算や従事者を確保し、コスト意識を持って事業に取り組みます。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト(任意)) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	お客さまセンター委託業務								
	担当部名	水道局	担当課名	総務課	課長名	福西 繁				
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	予算事業名									
	事業の開始年度	平成	19	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度		
	対象	給水世帯及び世帯			事業の内容説明	①水道メーター検針及び点検業務 ②開閉栓受付及び局電話受付(交換)業務 ③開閉栓業務(一部現地精算含む) ④水道料金及び下水道使用料調定業務 ⑤水道料金等収納及び滞納整理業務(給水停止を含む) ⑥水道メーター取替及び維持管理業務 ⑦給水装置工事及び指定工事業者新規受付業務 ⑧その他付帯業務 以上の業務を民間業者に委託				
	事業の目的	適正な料金請求と収納滞納料金の減少								
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業						
			2	市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)						
説明		市民サービスの向上と経費節減等経営の健全化のため、平成19年10月より民間業者に包括委託している。								
市の関与の必要性を評価してください		やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い			
説明	民間包括委託から直営に戻した場合、人件費の高騰が予測できる。									
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標	収納率(収納額/調定額)			98%	98%	98%	98%	98%	
	活動指標①									
	活動指標②									
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)			96,263	102,462	102,369	102,433		
		歳入(b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)							
		(a) - (b) = 一般財源			96,263	102,462	102,369	102,433		
正職員		従事者数(単位:人)			2.00	2.00	2.00	2.00		
		人件費(c)			12,344	13,000	13,000	13,000		
トータルコスト(a)+(c)			108,607	115,462	115,369	115,433				
単位当たりコスト	計算式等 ()/()									
備考 (これまでの実績等)										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	民間経営のノウハウを活かした市民サービスの向上、経費節減及び滞納整理が図れている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	経費節減を図ることにより、市民に安定した料金で水を提供することができる。							
評価	効率性評価		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください			説明	お客さまセンター業務は経費の大部分を人件費が占めるため、コストの低減はサービスの低下につながるおそれがある。					
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		民間業者の他市町村でのノウハウを本市に活かす提案等を受けることにより、一層のサービス向上が期待できる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		B	
4 廃止又は休止する				5 完了する						
			説明	できる限りの経費の節減はもとより、安定した業務遂行のための人材育成は不可欠である。						

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	水道局舎維持管理業務										
	担当部名	水道局	担当課名	総務課	課長名	福西 繁						
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち								
		施策	4	上下水道の整備								
	予算事業名											
	事業の開始年度	平成	2	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度				
	対象	水道局舎			事業の 内容説明	安全かつ円滑に水道事業を遂行するための拠点施設として常に機能できるよう、庁舎内の電気機械設備の点検整備等を定期的に行う。 また、非常停電時に備えての自家発電設備は毎月1回、整備点検と試運転を行っている。						
	事業の 目的	水道局舎を安全に維持管理し、通常時・非常時を問わず水道事業を円滑に遂行する。										
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)									
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明										
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い						
説明												
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)		
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み		
	成果指標											
	活動指標①											
	活動指標②											
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算				
		歳出(直接事業費)(a)			5,291	6,662	5,916	8,016				
		歳入 (b)	受益者負担額									
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)									
		(a) - (b) = 一般財源			5,291	6,662	5,916	8,016				
正職員		従事者数(単位:人)			1.20	1.20	1.20	1.20				
		人件費(c)			7,406	7,800	7,800	7,800				
トータルコスト(a)+(c)			12,697	14,462	13,716	15,816						
単位当 りコスト	計算式等 ()/()											
備考 (これまでの 実績等)												

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	一定レベルの機能と安全性を維持している。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	水道事業の基幹施設としての役割をなすことにより貢献度は高い。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	いずれ老朽化してくるものであるので一定レベルを保つための経費は不可欠である。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		現時点では特に問題はないので見直しは必要ないとする。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	現在の庁舎機能を適切に維持管理しながら部分的な老朽化に備える。今後、将来的な改修や資金面についてのビジョンが必要。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	水道局非常時対策事業										
	担当部名	水道局			担当課名	総務課		課長名	福西 繁			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7		快適な生活を育むまち							
		施策	4		上下水道の整備							
	予算事業名											
	事業の開始年度	平成	—		年度	事業の終了予定年度	平成	—		年度		
	対象	市民全般										
	事業の 目的	渇水、事故、災害等の不測の事態に際し、的確な初動活動ができる体制を確立し、安全な水道供給により市民生活を守る。				事業の 内容説明	渇水、事故、災害等を想定した各種訓練の実施及び災害用物資の購入					
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業 2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)									
			説明									
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い				
		説明										
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等				25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
						実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標											
	活動指標①	訓練実施回数(年間)				4	4	4	4	4	4	
	活動指標②											
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳				決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)				752	774	774	839			
		歳入 (b)	受益者負担額									
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)									
		(a) - (b) = 一般財源				752	774	774	839			
正職員		従事者数(単位:人)			1.50	1.50	1.50	1.50				
		人件費(c)			9,258	9,750	9,750	9,750				
トータルコスト(a)+(c)				10,010	10,524	10,524	10,589					
単位当 りコスト	計算式等 ()/()											
備考 (これまでの 実績等)												

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	定期的に訓練を実施することにより、職員の危機管理意識の向上につながる。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	非常時に市民生活を守るという観点からは非常に重要である。							
評価	効率性評価		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	訓練には大きなコストはかからない。非常時用物資は低減すべきものではない。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		各種訓練については今後も継続して実施し、職員各々の危機管理意識の向上を図る。危機管理課と連携を取り非常時の役割について明確にすることにより、いざという時に迅速な対応が期待できる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する						
		説明	非常時の市民生活を守るための事業であり、今後も継続していく。							

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年5月28日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	水道局総務事業								
	担当部名	水道局	担当課名	総務課	課長名	福西 繁				
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	予算事業名									
	事業の開始年度	昭和	45	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度		
	対象	水道局職員業務全般			事業の 内容説明	①公企業会計業務…予算決算の編成、資金管理運営 ②総務一般業務…事業基本計画、契約事務、文書管理、公用車管理、業務用無線管理 ③人事業務…職員研修、健康診断、訓練 ④水道営業業務…水道料金に関する業務				
	事業の 目的	水道事業の健全経営								
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)							
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明								
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標									
	活動指標①									
	活動指標②									
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)			20,558	26,563	24,354	25,388		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)							
		(a) - (b) = 一般財源			20,558	26,563	24,354	25,388		
正職員		従事者数(単位:人)		3.10	3.10	3.10	3.10			
		人件費(c)		19,133	20,150	20,150	20,150			
トータルコスト(a)+(c)			39,691	46,713	44,504	45,538				
単位当 りコスト	計算式等 ()/()									
備考 (これまでの 実績等)										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	平成25年度決算においては28,294万円の当期純利益をあげ、健全な経営が行なわれている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	上水道事業の根幹をなす業務である。							
評価	効率性評価		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	すでに効率経営を行っており削減の余地は見込めない。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		会計システムの見直しにより事務の効率化を図る。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する						
		説明	現在の健全経営を維持しながら「安全で安心、安定した水道の供給」をすべく努力する。							

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年5月26日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	水道メーター取替及び維持管理業務							
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本 経二郎			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち					
		施策	4	上下水道の整備					
	予算事業名								
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度	
対象	水道メーター検定満了に伴い取替、取外しを行うもの。			事業の 内容説明	計量法に基づいて、定期的に取り替を行い、取替に必要な金額を適正に算出して、委託業者と契約して取替を行う。また、閉栓中で5年以上使用されていないメーターについても適正に算出し、委託業者と契約し取外しを行う。取替困難箇所については、使用者と協議を行い改善する。				
事業の 目的	安定供給を確保する為、給水装置を適正に設置する。								
妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
		2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)							
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明							
		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等		25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標								
	活動指標①	検定満了に伴う取替メーター数		6,631	6,600	6,328	6,800	6,700	6,700
	活動指標②	検定満了に伴う取外メーター数		287	110	265	100	300	300
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)		10,353	11,093	11,744	12,599		
		歳入 (b)	受益者負担額						
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)						
		(a) - (b) = 一般財源		10,353	11,093	11,744	12,599		
		正職員	従事者数(単位:人)	0.50	0.40	0.40	0.25		
			人件費(c)	3,086	2,600	2,600	1,625		
トータルコスト(a)+(c)		13,439	13,693	14,344	14,224				
単位当 りコスト	計算式等 トータルコスト/(活動指標①+活動指標②)		2	2	2	2			
備考 (これまでの 実績等)	委託業者と契約し、水道メーターを適正に管理している。								

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	取替困難箇所については、現場状況に応じ水道局と委託業者が連携して対応することにより、改善はある程度進んでいる。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	水道メーターを適正に管理している。							
評価	効率性評価		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	水道メーター検満(検定満了)に伴う取替において、閉栓中で5年以上使用されていないメーターを取外すことにより、メーター不明の解消及びメーターの費用を削減している。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		取替困難箇所については、さらに水道局と委託業者が連携し、速やかに水道メーターの取替を行い、適正な管理を行っていく。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	取替困難箇所の解消を図るため、継続して改善を進めて行く。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年5月26日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	貯水槽水道維持管理業務						
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本 経二郎		
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
	予算事業名							
	事業の開始年度	平成	25	年度	事業の終了予定年度	平成	27	年度
対象	貯水槽水道設置者			事業の 内容説明	貯水槽水道の適正な維持管理を設置者に行ってもらうため、維持管理状況を現地で確認し、設置者に適正な管理を指導する。また、利用者に対し貯水槽水道の管理等に関する情報提供を的確に行う。			
事業の 目的	安定供給を確保するため、貯水槽水道の維持管理状況を確認し、設置者に適正な管理を指導する。							
妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業						
		2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)						
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	説明							
	やめた 場合の 影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い			
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
	成果指標		実績	計画	実績	見込み	見込み	
	活動指標①	貯水槽水道調査数	211	300	473	160		
	活動指標②							
D O 実 施	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
		歳出(直接事業費)(a)			1,622	1,650	1,631	
		歳入 (b)	受益者負担額					
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)					
		(a) - (b) = 一般財源			1,622	1,650	1,631	
		正職員	従事者数(単位:人)		0.55	0.60	0.60	0.65
			人件費(c)		3,395	3,900	3,900	4,225
		トータルコスト(a)+(c)			3,395	5,522	5,550	5,856
単位当 りコスト	計算式等 トータルコスト/(活動指標①+活動指標②)		16	18	12	37		
備考 (これまでの 実績等)	平成23年度に貯水槽水道の現況状況を把握する為、アンケート調査を実施した。また、平成24年度において市の施設について維持管理状況を調査した。							

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	貯水槽水道の調査を行うことにより、貯水槽水道設置者の維持管理に対する重要性は理解されている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	安定供給を確保するためには、貯水槽水道の管理は不可欠である。							
評価	効率性評価		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	貯水槽水道の調査を行うに当り、設置者との調整が必要な為、改善の余地がない。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		定期的に調査を行い、適切な維持管理を行うよう貯水槽水道設置者に指導する。そのことにより、安定供給を確保することができる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください		5	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		
説明		貯水槽水道の維持管理状況を確認し、貯水槽水道の設置者へ適正な管理を促し、今後定期的に調査を行う。								

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月29日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	配水管移設事業							
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本経二郎			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち					
		施策	4	上下水道の整備					
	予算事業名								
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度	
	対象								
	事業の目的	他事業で支障になる上水道施設の移設・復旧及びそれに伴う設計・施行管理・検査事業		事業の内容説明(全体計画)	他事業で支障になる上水道施設の移設・復旧及びそれに伴う設計・施行管理・検査事業				
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業						
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)						
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明							
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い			
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等		25年度	26年度		27年度	28年度	29年度(総計目標)
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標								
	活動指標①	移設件数		13	26	15	16	16	16
	活動指標②	施行延長		1,432	2,450	1,472	1,565	1,565	1,565
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)		63,177	160,840	84,597	103,675		
		歳入(b)	受益者負担額						
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)	24,462	45,814	25,970	37,792		
		(a) - (b) = 一般財源		38,715	115,026	58,627	65,883		
正職員		従事者数(単位:人)	3.85	2.75	2.75	1.05			
		人件費(c)	23,762	17,875	17,875	6,825			
トータルコスト(a)+(c)		86,939	178,715	102,472	110,500				
単位当たりコスト	計算式等 ()/()								
備考(これまでの実績等)	支障移設管路の施行に際し、耐震管及び耐震継手の使用を行っている。								

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない		
			説明	他事業に併せて事業を実施した結果、工事件数及び施工延長の減少が生じたが、下水道局の工事箇所については、概ね下水道築造工事の事業に併せて実施することが出来た。				
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い	
			説明					
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない		
説明								
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
説明			4 完了する					
		今後(27年度)についても、他事業に併せて移設事業を行う。事業コストについても、26年度と同程度になると予測される。						

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 29日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業

PLAN
計画

事務事業名	配水管埋設事業						
担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本経二郎		
総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち				
	施策	4	上下水道の整備				
予算事業名							
事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度
対象							
事業の目的	上水道管を拡張するための布設及びそれに伴う設計・施工管理・検査事業		事業の内容説明(全体計画)	上水道管を拡張するための布設及びそれに伴う設計・施工管理・検査事業			
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業					
		2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)					
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明					
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い	
説明							

DO
実施

指標の推移	名称及び単位等	25年度	26年度		27年度	28年度	29年度(総計目標)
		実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
成果指標							
活動指標①	工事件数	11	3	3	4	4	4
活動指標②	施行延長	1,816	920	618	316	316	316
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
	歳出(直接事業費)(a)		54,024	35,910	20,839	18,780	
	歳入(b)	受益者負担額					
		受益者負担額以外の歳入(補助金等)	16,143	13,522	9,398	4,650	
	(a) - (b) = 一般財源		37,881	22,388	11,441	14,130	
	正職員	従事者数(単位:人)	0.70	1.60	1.60	1.20	
		人件費(c)	4,320	10,400	10,400	7,800	
	トータルコスト(a)+(c)		58,344	46,310	31,239	26,580	
単位当たりコスト	計算式等 ()/()						
備考(これまでの実績等)	新設管路の施工に際し、耐震管及び耐震継手の使用を行っている。						

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない			
			説明	事業を計画した工事箇所については、概ね実施する事が出来た。					
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明						
				1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない		
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。								
	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度			
修正行動			説明	今後も新設道路等、他事業の進捗に併せて事業を進めていく。 27年度事業についても、他事業等の事業予定に併せて継続していく予定。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 29日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	ポンプ場維持管理事業									
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本 経二郎					
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	予算事業名										
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
	対象	ポンプ場施設			事業の 内容説明	ポンプ場に設置されている加圧ポンプ、制御盤、圧力タンク、受水槽などの機器を仕様書に基づき、年四回の点検及びメンテナンスを実施する。1箇所ある受水槽については、水道水の水質が関係法令の基準を満たす様、年一回の清掃・消毒を実施し、安全な水道水の供給に努める。					
	事業の 目的	水道局が設置している市内6箇所の加圧ポンプ場のポンプ及び制御盤等の機器の定期的な点検と受水槽の設置されている1箇所については清掃を実施し、水道水の安定供給並びに水質の保全を図る。									
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明									
		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い						
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標										
	活動指標①	保守点検箇所数			7	7	7	6	6	6	
	活動指標②										
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			6,294	7,264	5,467	6,349			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)								
		(a) - (b) = 一般財源			6,294	7,264	5,467	6,349			
正職員		従事者数(単位:人)			0.70	0.75	0.75	1.00			
		人件費(c)			4,320	4,875	4,875	6,500			
トータルコスト(a)+(c)			10,614	12,139	10,342	12,849					
単位当 りコスト	計算式等 (トータルコスト) / (活動指標①)			1,516	1,618	1,477	2,142				
備考 (これまでの 実績等)	加圧ポンプ場の維持管理を適切に実施し、水道水を安定供給した。										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	ポンプ場の確実な運転による水圧確保と清掃による水質の保全が維持されている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	施設の更新を適切に実施し、経年劣化による故障等を回避し、継続的な安定供給を目指す。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	平成22年度に点検頻度の見直しを実施したが、これ以上の低減はリスクが伴うため困難である。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		ポンプ場の保守点検や清掃を定期的を実施することにより、不具合を早期に発見し、迅速な対応が可能である。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	上水道事業において、水道水の安定供給と水質の確保は非常に重要であり、今後も継続が必要である。ポンプ場については、維持管理だけでなく、順次機器の更新が必要となるため、ポンプ場の統廃合等を含めた計画的な運用を実施し、更なる効率化を目指していく。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月29日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	開発協議事業								
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本経二郎				
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	予算事業名									
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度		
	対象	開発事業者			事業の 内容説明	開発事業事前協議会に参加し、檀原市開発指導要綱に基づき開発事業者と協議・指導を行う。また、事前協議において配管、材料等の詳細を条例、規程、要綱により協議・指導を行っています。その後、工事施工前に工程、施行管理の確認を行っている。				
	事業の 目的	安定供給を確保するため、開発事業者が開発工事の協議・指導をすることにより、檀原市仕様に適合した上下水道施設を設置する。								
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)							
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明								
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標									
	活動指標①	開発協議件数		43	40	38	40	40	40	
	活動指標②	負担金工事件数								
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)								
		歳入 (b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)							
		(a) - (b) = 一般財源								
正職員		従事者数(単位:人)		0.70	0.65	0.65	0.65			
		人件費(c)		4,320	4,225	4,225	4,225			
トータルコスト(a)+(c)			4,320	4,225	4,225	4,225				
単位当 りコスト	計算式等									
	トータルコスト/(活動指標①+活動指標②)		100	100	100	100				
備考 (これまでの 実績等)	平成22年度から開発事業事前協議会に参加することにより、事前協議、書類審査、施工指導により工事が円滑に行くようになった。									

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	開発事業事前協議会に参加することにより、事務の効率化が図られている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	開発事業者により檀原市仕様に適合した上水道施設を設置する為、この事業により適切な施工がされています。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	説明		開発事業事前協議会において、檀原市仕様に適合した上水道施設の周知徹底を図ることにより、事務の効率化を図る。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		開発事業者により檀原市仕様に適合した上水道施設を設置する為、開発指導要綱の見直しを行い、さらに周知徹底を図りたい。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	開発事業事前協議会において、説明内容を見直しながら、開発事業者への条例、規程、要綱の周知徹底により事務の効率化を図る。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 29日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

PLAN
計画

事務事業名	各種調査業務						
担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本経二郎		
総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち				
	施策	4	上下水道の整備				
予算事業名							
事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度
対象	上水道施設			事業の内容説明	市内の上水道施設を適宜、巡視・調査を実施し、漏水や道路構造物の不具合について早期に修理、改善を行う。また、水道管に設置されている消火栓において、定期的に水圧測定を実施し、管路の状況を把握し、安定的に水道水を供給する。		
事業の目的	市内の上水道施設の現状を把握し、安定供給に向けた各種調査を実施し、配水計画に反映する。						
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業					
		2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)					
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明					
		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い		
説明							

DO
実施

指標の推移	名称及び単位等	25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)
		実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
成果指標							
活動指標①	配水管延長(km)	595	597	596	598	600	602
活動指標②							
コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
	歳出(直接事業費)(a)						
	歳入(b)	受益者負担額					
		受益者負担額以外の歳入(補助金等)					
	(a) - (b) = 一般財源						
	正職員	従事者数(単位:人)	0.65	0.55	0.55	1.05	
		人件費(c)	4,012	3,575	3,575	6,825	
	トータルコスト(a)+(c)		4,012	3,575	3,575	6,825	
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト) / (活動指標①)	7	6	6	11		
備考 (これまでの実績等)	水道関連施設の巡視及び年二回の水圧測定を実施し、水道水を安定供給した。						

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	漏水の早期発見や道路構造物の不良による2次災害を未然に防止できる。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	調査による管路網の状況把握が、配水や給水等の各種計画の策定にあたり基本となっている。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	各種調査は、水道水の安定供給及び健全な経営に必要不可欠であり、低減は困難である。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		各種調査を実施することにより、漏水修理や道路構造物の修繕を迅速に行い、適切な維持管理に貢献している。また、管路の現況把握は、各種計画の策定について基本となるものであり、重要である。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	各種調査は、必要不可欠であるが、今後、より効率的で効果的な調査方法について検討していく。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月29日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	管理計画業務									
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本経二郎					
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	予算事業名										
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
	対象	設計積算システム(アクアΣ)及び管路管理システム(Waters)			事業の内容説明	積算単価の管理を行う事により、適正な工事費の積算を図ると共に、既存の水道施設を管路管理システムにより管理することで、水道工事の計画及び他事業者の事業協議の審査を行い、円滑な事業の進捗を図る。					
	事業の目的	上水道施設の管理・計画・審査を適切に行う事により、円滑な事業の進捗を図り工事成果を上げる。									
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明									
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標										
	活動指標①	GIS入力(工事)件数(率)			100	100	100	100	100	100	
	活動指標②	GIS入力(給水)件数(率)			100	100	100	100	100	100	
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			6,024	5,587	5,394	5,784			
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)								
		(a) - (b) = 一般財源			6,024	5,587	5,394	5,784			
正職員		従事者数(単位:人)			1.25	0.75	0.75	0.75			
		人件費(c)			7,715	4,875	4,875	4,875			
トータルコスト(a)+(c)			13,739	10,462	10,269	10,659					
単位当たりコスト	計算式等 ()/()										
備考 (これまでの実績等)	システムを利用することにより迅速な事務作業に寄与している。										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要		
		説明	システムを活用することにより蓄積されたデータを有効利用している。						
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	管路管理システムの檀原市上水道台帳を閲覧、調査することにより、的確な情報発信が成されている。						
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない		
		説明	管路管理システムの檀原市上水道台帳を閲覧、調査することにより、的確な情報発信が成されている。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		給水申請についても入力件数を把握し管路管理システムに入力することにより、GISデータの精度の向上を図り、水道工事の計画及び他事業者の事前協議の審査を円滑に進めることが期待できる。						
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	管路管理システムについても、施設の新設及び改廃に合わせデータ入力し管理するため、継続しての実施が必要である。 但し、今後は給水申請についても入力件数を把握することで、管路管理システムの精度の向上を図る。				

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 29日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	管路維持管理事業							
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本経二郎			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち					
		施策	4	上下水道の整備					
	予算事業名								
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度	
	対象	上水道管路及び施設			事業の 内容説明	職員の巡視や市民からの通報による水道管からの漏水を早期に調査、修理を実施し、また、お客様の給水装置についても積極的に維持管理することにより、有収率の向上に努める。上水道施設の安全確保については、事業者に対し地下埋設物事前協議書の提出を求め、適宜現場立会を実施する。			
	事業の 目的	上水道の安定供給のため、管路及び施設の維持管理を行うことにより、有収率の向上、漏水による二次災害の予防及び住民サービスの向上を図る。							
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業						
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)						
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明							
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い			
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等		25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み
	成果指標								
	活動指標①	修理件数(件)		565	550	522	500	500	500
	活動指標②	給水戸数(戸)		46,811	46,700	47,021	47,710	48,000	48,300
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出(直接事業費)(a)		33,522	40,646	36,168	40,768		
		歳入 (b)	受益者負担額						
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)						
		(a) - (b) = 一般財源		33,522	40,646	36,168	40,768		
正職員		従事者数(単位:人)	1.65	1.60	1.60	1.85			
		人件費(c)	10,184	10,400	10,400	12,025			
トータルコスト(a)+(c)		43,706	51,046	46,568	52,793				
単位当 りコスト	計算式等 (トータルコスト)÷(活動指標①)	77	93	89	106				
備考 (これまでの 実績等)	適切な漏水修理対応、他工事における現場立会を実施し、上水道施設の安全を確保した。								

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	漏水による2次災害を防ぎ、有収率の維持に努めている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	危機管理の上で重要な事業である。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください			説明	管路の維持管理は不確定要素が多く、改善は難しい。					
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		修理業者へ指導を行い、修理技術の向上に努め、さらに迅速で正確な対応を実施する。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
4 廃止又は休止する				5 完了する						
		説明	上水道事業においては、管路・施設の維持管理は必要不可欠であり大きな変更は難しいが、更なる効率化を目指していく。							

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年5月29日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト(義務)) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	給水装置設置事業									
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本 経二郎					
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	予算事業名										
	事業の開始年度	昭和	32	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
	対象	給水装置工事を設置する申請者			事業の 内容説明	給水装置工事の申請に至るまでの協議等その後、申請後の書類審査、工事の監督給水装置完了後の検査、又適正な給水装置を設置するために、新規指定工事業者受付、審査並びに指導を行う。					
	事業の 目的	安定供給を確保するため、給水装置を適正に設置する。									
	妥当性 評価	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与 の必要性を 評価してく ださい	やめた 場合の 影響は	説明									
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標	給水申請受付件数			1,000	1,000	733	1,000	1,000	1,000	
	活動指標①										
	活動指標②										
	コストの 推移 (単位: 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)									
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)								
		(a) - (b) = 一般財源									
正職員		従事者数(単位:人)			1.65	1.65	1.65	1.45			
		人件費(c)			10,184	10,725	10,725	9,425			
トータルコスト(a)+(c)			10,184	10,725	10,725	9,425					
単位当 りコスト	計算式等 (トータルコスト)÷(成果指標)										
備考 (これまでの 実績等)	指定給水装置工事事業者への給水条例等に基づく指導等の徹底を図る為、講習会を開催した。										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	書類審査、竣工検査により、給水装置が適正に設置することができる。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	給水装置を適正に設置することで、適切に維持管理ができる。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	委託業務(受付)及び設計審査の改善を行うことにより、事務の効率化に繋がっていく。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		指定給水装置工事事業者への給水条例等に基づく指導等の徹底を図る為、定期的に講習会を開催することにより、より一層周知徹底が図られ、事務の効率化に繋がっていく。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	定期的に指定給水装置工事事業者への指導等の徹底、委託業務(受付)の改善、時代のニーズに応じた関係要綱の改正を図る。					

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年 5月 19日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	更新・耐震化事業									
	担当部名	水道局	担当課名	施設課	課長名	岡本経二郎					
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	予算事業名										
	事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
	対象										
	事業の目的	老朽化した上水道管を管路更新・耐震化することにより、給水の安定供給を図る。		事業の内容説明(全体計画)	老朽化した上水道管を管路更新・耐震化することにより、給水の安定供給を図る。						
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明									
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
説明											
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度(総計目標)	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み	
	成果指標										
	活動指標①	工事件数	2	3	4	5	5	5	5		
	活動指標②	施行延長	267	630	792	1,571	1,571	1,571			
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出(直接事業費)(a)			22,816	157,277	128,376	218,551			
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)			3,865	49,949	27,860			2,671
		(a) - (b) = 一般財源			18,951	107,328	100,516	215,880			
正職員		従事者数(単位:人)			0.55	1.10	1.10	1.50			
		人件費(c)			3,395	7,150	7,150	9,750			
トータルコスト(a)+(c)			26,211	164,427	135,526	228,301					
単位当たりコスト	計算式等 ()/()										
備考(これまでの実績等)	老朽管布設替管路の施工に際し、耐震管及び耐震継手の使用を行っている。										

CHECK	進捗状況	目標(計画)どおり進んでいるか	1	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	事業を計画した工事箇所については、予定通り実施することができた。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください			1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない
			説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください		1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度
修正行動			4 完了する				
			説明	老朽管の更新事業は、昨年度(H26年度)より事業名を更新・耐震化事業に変更し、引き続き管路更新計画に基づき経年劣化した管路を順次布設替し、併せて耐震化も図っていく。			

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年6月1日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	浄水場運転維持管理事業								
	担当部名	水道局	担当課名	施設課八木浄水場	課長名	井上吉成				
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	予算事業名									
	事業の開始年度	昭和	31	年度	事業の終了予定年度	平成	27	年度		
	対象	浄水場施設等		事業の内容説明	・昼夜を問わず原水の取水に努め、適切な浄水処理を実施することにより、低廉な水道水を安定して供給する。 ・ポンプ設備や電気計装設備といった設備・機器の定期的なメンテナンスを実施することにより、浄水場施設の良好な維持管理を図る。					
	事業の目的	水道水を安定供給することを目的とする。								
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)							
市の関与の必要性を評価してください	説明									
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
説明										
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (総計目標)	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標	八木浄水場配水量 (千m3)			3,159	2,920	2,998	2,928		
	活動指標①									
	活動指標②									
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出 (直接事業費) (a)			51,944	69,397	64,920	62,336		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)							
		(a) - (b) = 一般財源			51,944	69,397	64,920	62,336		
正職員		従事者数 (単位:人)			5.60	5.55	5.55	4.15		
		人件費 (c)			34,563	36,075	36,075	26,975		
トータルコスト (a)+(c)			86,507	105,472	100,995	89,311				
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト 円) / (八木浄水場配水量 m3)			27	36	34	31			
備考 (これまでの実績等)										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	浄水場の配水量は固定して計画しており、相応の配水量を確保できている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	安全で低廉な水道水を供給するためには、自己水源による供給は有効である。また、危機管理のうえでも自己水の確保は重要である。							
評価	効率性評価		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	設備・機器を安定的に稼働させるためメンテナンスを行うことは必要不可欠であり、低減余地はあまりない。更に設備・機器の老朽化によりメンテナンスコストは増大していくと考えられる。今後、自己水源の維持には多額の施設更新費用が必要となるため、これを考慮し、すべて県営水道受水に切り替える。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		平成28年3月末で廃止となるが、それまでは、従来どおり原水の取水、適切な浄水処理に努め、自己水源により安定供給していく。それ以降は、奈良県水道局からの浄水受水に切り替える。このことにより浄水場の施設更新費用を抑制することができる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	4	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する			自己水の廃止、県営水道への全量転換を行う。平成28年3月末をもって浄水場運転維持管理事業を廃止する。			

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年6月1日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	水質検査事業									
	担当部名	水道局	担当課名	施設課八木浄水場	課長名	井上吉成					
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	予算事業名										
	事業の開始年度	平成		年度	事業の終了予定年度	平成	年度				
	対象	水道局が供給している水道水			事業の内容説明	・毎日9箇所、濁度・色度・残塩の検査を行う。 ・自己水質検査を月1回、2箇所の配水場、小中学校22校及び11箇所の自治会地区内の公共施設等の給水栓より採水し実施する。また月2回、浄水場給水栓と各原水より採水し実施する。 ・自己検査できない項目については、奈良広域水質検査センター組合に検査を委託する(管末3箇所、年4回)。					
	事業の目的	水道局が供給している水道水の水質検査を実施し水道水の品質を保証することを目的とする。									
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明									
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等		25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)		
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み		
	成果指標	自己検査検体数 ①+②(件)		3,829	3,831	3,825	3,828	3,454	3,454		
	活動指標①	毎日検査検体数 (件)		3,285	3,285	3,285	3,294	2,920	2,920		
	活動指標②	毎月検査検体数 (件)		544	546	540	534	414	414		
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出 (直接事業費) (a)			9,907	5,319	4,485	4,377			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)								
		(a) - (b) = 一般財源			9,907	5,319	4,485	4,377			
正職員		従事者数 (単位:人)			2.10	2.30	2.30	1.60			
		人件費 (c)			12,961	14,950	14,950	10,400			
トータルコスト (a)+(c)			22,868	20,269	19,435	14,777					
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト 千円) / (自己検査検体数 件)			6	5	5	4				
備考 (これまでの実績等)											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要				
		説明	検体数も安定して推移している。								
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い				
		説明	水道水の水質に関心が高まるなか検査結果をHP上に掲載しており、閲覧によって利用している水道水の水質を知ることができている。更には水質に関する問合せ等にも訪問調査等を行い顧客満足度アップを図ることができている。								
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
			説明	自己検査を廃止すると委託せざるを得ないが、現状全て委託すれば多額の費用が必要であり、また即応性に欠ける。ただし、自己検査体制でも人手や機器更新等が必要である。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		自己水質検査において、検査技術の向上という面では、人員削減により検査員の確保が難しい面があるが、検査方法のマニュアル化等に対応し、更なる水質検査技術の向上に努める。それにより、検査精度の向上を図ることができる。								
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	3	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度		
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	H27年度末の浄水場廃止により、検査検体数が減少する。密度の高い水質情報の提供には検体数の維持は必要であり、水質管理の重要・即応性から自己検査体制は必要不可欠でもあるため、トータルコストを抑制しつつ現体系で今後も継続する。また、水質についての顧客満足度アップを図っていく。						

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年6月1日)

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	配水場運転維持管理事業									
	担当部名	水道局	担当課名	施設課八木浄水場	課長名	井上吉成					
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	予算事業名										
	事業の開始年度	昭和	45	年度	事業の終了予定年度	平成	年度				
	対象	配水場施設等		事業の内容説明	・年間の送水計画を策定し、県水道局と受水調整を図りつつ、浄水場からの遠隔操作により均等受水に努め、安定的に配水する。 ・ポンプ設備や電気計装設備等の定期的なメンテナンスを実施することにより、配水場施設の良好な維持管理を図る。						
	事業の目的	水道水を安定供給することを目的とする。									
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	説明									
			1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (総計目標)		
				実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み		
	成果指標	県水総受水量 ①+② (千m3)			10,568	10,560	10,421	10,590	13,480	13,480	
	活動指標①	白樫配水場受水量 (千m3)			4,886	4,916	4,731	4,930	6,376	6,376	
	活動指標②	一町配水場受水量 (千m3)			5,682	5,644	5,690	5,660	7,104	7,104	
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出 (直接事業費) (a)			1,468,575	1,483,595	1,459,806	1,500,952			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)			1,656					
		(a) - (b) = 一般財源			1,466,919	1,483,595	1,459,806	1,500,952			
正職員		従事者数 (単位:人)			3.70	3.55	3.55	3.50			
		人件費 (c)			22,836	23,075	23,075	22,750			
トータルコスト (a)+(c)			1,491,411	1,506,670	1,482,881	1,523,702					
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト 円) / (県水総受水量 m3)			141	143	142	144				
備考 (これまでの実績等)											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要		
		説明	総配水量が漸次減少傾向であり、奈良県水道局からの受水量(購入水量)も下がっている。						
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い		
		説明	自己水源の拡充が望めない為、必要水量を確保する為には県営水道に依存せざるを得ず貢献度は高い。						
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない		
		説明	トータルコストのうち、ほとんどが県営水道の受水(購入)費用であり、低減余地はほとんどない。25年度より受水料金の値下げによりトータルコストとしては減少している。ただし、設備・機器が老朽化していくためメンテナンスコストは増大していくと考えられる。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		設備・機器の老朽化を補完するためメンテナンスや更新等を適切に行うことにより施設の安全性を維持していくことができる。今後の更新については、奈良県水道局とも十分協議し、更新コストの抑制、ダウンサイジング化、施設の集約化を考慮することにより、トータルコストの抑制が期待できる。						
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する					
		説明	水道水の供給のためこの事業は不可欠であり、また、自己水の廃止により必然的に県営水道の受水量が増大するため、事業を拡大する。ただし、供給コストを考慮し、設備・機器更新を適切に行い施設の安全性を維持していく。						

事務事業評価表(平成26年度実施事業対象)

(作成日:平成27年6月1日)

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト(任意)) 事業

P L A N 計 画	事務事業名	広報事業										
	担当部名	水道局	担当課名	施設課八木浄水場	課長名	井上吉成						
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち								
		施策	4	上下水道の整備								
	予算事業名											
	事業の開始年度	平成		年度	事業の終了予定年度	平成	年度					
	対象	水道需要者及び施設見学者			事業の内容説明	・水道局のホームページ(HP)を毎月更新することにより、水質検査結果等の水道事業に関する情報を広く提供する。 ・施設見学、出前講座を行い水道事業に対する理解を深めてもらう。その際、資料も配布し記憶に残りやすいものにする。 ・水道局発行の広報紙(年2回)に浄水場の業務に関する記事を掲載する。						
	事業の目的	水道事業の情報提供及び啓発活動を行い、水道事業に対する理解を深めてもらうことを目的とする。										
	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	2	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2	市の関与について見直す余地のある事業(民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど)								
説明		水道法でも情報提供の必要性が定められており、その中の一つの手法として実施している。水道事業を広く周知するものであり、その対象として市内小学校も含まれており、社会見学の一環として実施されていることから市が関与すべき事業である。										
市の関与の必要性を評価してください	やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い						
		説明	水道事業情報の入手手段が電話や閲覧のみになる(HP・広報紙による情報提供)。小学校の授業で市内の市施設見学があるので影響は非常に大きい(施設見学等)。									
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			25年度	26年度		27年度	28年度	29年度 (総計目標)		
					実績	計画	実績	見込み	見込み	見込み		
	成果指標	水道パンフレット配布部数 (部)			354	300	196	300	300	300		
	活動指標①	HP更新回数 (回)			12	12	12	12	12	12		
	活動指標②	施設見学、出前講座参加数 (人)			354	300	196	300	300	300		
	コストの推移 (単位:千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算				
		歳出(直接事業費)(a)			210	292	113					
		歳入(b)	受益者負担額									
			受益者負担額以外の歳入(補助金等)									
		(a) - (b) = 一般財源			210	292	113					
正職員		従事者数(単位:人)			0.50	0.50	0.50	0.50				
		人件費(c)			3,086	3,250	3,250	3,250				
トータルコスト(a)+(c)			3,296	3,542	3,363	3,250						
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト 千円) / (配布部数 部)			9	12	17	11					
備考 (これまでの実績等)												

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	3	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	施設見学・出前講座の参加者をもう少し増やし周知効果を高めたいと考えている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	水道水の製造工程や安全性に対する理解が深まり、需要者が水道水を利用していくうえで安心感が高まる。							
評価	効率性評価		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない			
	内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		説明	HPについては、職員のみで対応している。又、見学等で配布する資料についても印刷経費で対応できており、現時点の費用対効果は大変高い。そのため削減余地はあまりない。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		小学校にも施設見学・出前講座実施の事前周知を十分行うことにより、参加者の増加が期待できる。また、対応可能な職員を増やすことにより内容の充実、受入回数の増加を目指していきたい。さらに広報紙への記事の記載により水道事業の内容を広く周知できることが期待される。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		B	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	情報提供、啓発活動は水道事業を理解してもらうためには有効な手段であるため、今後は内容の充実や参加者の増加を目指し継続していく。					